

議会運営委員会会議録

- 1 日 時 令和5年6月13日(火)
会議時間 15時10分開会 15時56分閉会
- 2 会議場所 役場3階 第1委員会室
- 3 出席議員 委員長：橋本晃明
委員：只野敏彦、川上均、中河つる子、深沼達生
議長：山下清美
- 4 事務局 事務局長：大尾 智、次長兼総務係長：川口二郎
- 5 議 件
(1) 議会報告会と町民との意見交換会について
(2) 議会モニター会議の開催時期等について
(3) その他
- 6 会議内容 別紙のとおり

【開会 15:10】

(1) 議会報告会と町民との意見交換会について

委員長（橋本晃明）：只今から議会運営委員会を開催する。まず、議会報告会と町民との意見交換会についてであるが、開催時期、場所、回数等について、現状でいくと10月18日に模擬議会があるので、それ以降で良いか、清水、御影2地区という分け方で良いか、いずれにしても広報しみずお知らせ版、議会広報で案内することになるので、議会広報だと8月中頃の発行ということで、それまでには内容等について決めておかないと周知できないことになるので、そのようなことも含めて、検討する内容であるが、令和4年度については、議会からの報告と質疑、その後テーマで議員に求めること、議員のなり手不足の解消について、意見交換する形だったが、実際には集まった方々から議会や町に対する意見が出てきて、それに回答する場になっていたようなふうに聞いている。それでいいのかと、新しい進め方はできないかと、また、改選後活動期間が短いということで延びてきたけれども、まずは日にちを決めてそれに向かっていくということにしないと、いつまでもどうしたらいいかと繰り返しになってしまうので、そのところは今日押さえておきたいと思うので、よろしく願います。今後どのような形で行くかというスケジュール感も含めて事務局から説明願う。

事務局長（大尾 智）：今、委員長が話されたとおり、まずは周知もあるので、開催時期と会場、回数が、いつ頃どこでというものをまず決定していただいて、中身については、お手元に去年の意見交換会の時に配布した資料と、取りまとめた報告書を添付している。かなりボリュームのある説明と、報告書の方では意見、提言含めていただいて、それに対して回答する、そこには理事者に対する、本来要望すべきような内容もかなり含まれていたもので、それを聞いて後で理事者に報告するとかいう部分で、報告会というのはいいかもしいけれども、意見交換会というところが、本来の目的ができていないというところがあって、中身を検討したいという話であった。先進地の取り組み等を見ても、ワールドカフェというような、こんな感じで、議員さん方も平場で何名かのグループで、いくつかテーマを設けながらそこに色んな人が時間区切って周っていくということで、そこで何かを決めるとか方向性を出すということではなくて、テーマについて何でも話していただいて、そこから何か議員活動の部分になるものが拾えるような形がとれるのではないかと書いている。議会は議員個々の集合体なので、議会としてそういう議決をしたとか方向性を出したことについて教えてと質問があったが、なかなか、議会としてどうしたということは難しいと思う。それぞれ皆さんが持ち寄った中で結果的には多数決という結論で進んでいるものであるから、議会としてどうしてこういう議決になったのかとか、そういう形での意見交換会は建設的な話し合いにならないというような気がした。それで、私の方で調べた中ではこういう形でやっている所がある。後半には多様性の実現とか、議員報酬と定数の経緯というのがある。例えば、なじむかどうかかわからないが、グループ討議のテーマとして、女性議員を増やすためにはとか、定数と報酬についてどうかということもテーマとしてテーブルに上げることはできるのかなと思っている。あくまでも提案として事務局として考えてみたのでお話しさせていただいた。

委員長：ワールドカフェというのはどういう意味でワールドカフェというのだろうという

のもあって、グループディスカッションと何が違うのかというところもあるけれども、議会報告会というのも最初に始めたときと今とでは、議会と町民との接し方とかも全然違って、時代が変わっている中でやり方も変わっていくのは当然かなと思う。私が議員になった時なんかは、議員の賛成反対は議会だよりに掲載してはいけないみたいに言われていて、それでは自分の支持している議員がどう判断したのかわからないではないかみたいな話から、議会報告会もやったらいいのではないかと、個々の議員がどんなことを考えて議会に臨んでいるのか明らかにする機会が必要ではないかというようなことから始まったと思うけれども、最近は広報紙みても議案ごとに議員の賛否が出ていたり、そういう面では随分変わってきたなと思うので、町民との意見交換会だとか議会の報告すべきものというの昔ながらにやっていたのでは、やっぱりすでにもう合わなくなっているというのはあるのではないかと思う。グループディスカッションでそれぞれのグループで色々なテーマで話しているところに議員が移動しながら入って行って、町の課題についての意見交換とか、雰囲気をつかむとか、そういうようなこともできるのではないかというご提案だったと思う。ご意見お持ちの方がいらっしゃったらまずそこも聞かせていただきたいと思うがいかがか。とりあえず日程決めないと先に進まないということで、特に8月15日の議会広報には間に合うように進めていきたいと思う。暫時休憩する。

【休憩 15:23】

【再開 15:26】

委員長：休憩前に引き続き会議を開く。まず、開催日の候補日は10月後半、最終週かその前の週かぐらいになると思うけれども、決まり次第皆さんにお知らせしたいと思うが、その辺を開催日として準備を進めていくということでお願いします。

中河議員：1週間くらい前の勝毎に出ていた論壇に、浦幌の北村貴さんが出ていて、浦幌町はすごく活性化されて、20代の女性も出てきてその内容が出ていた。その内容が、まず議員報酬を上げて、議員になりやすいようにと色々重ねて、その結果が今回の選挙であったという内容が書いてあった。そういう浦幌のものも参考にしてもいいかなと思った。

委員長：浦幌も議会活性化の方でも順位上げて、新聞にも出ていた。さまざまなところの情報は集めて検討していくというのは大事だと思う。

川上委員：浦幌については私も山下議長も以前、町民懇談会に参加させてもらった。同じような、グループに分けて議論して、そこに若い人たちも入ってきていた。いずれにしても方法については次回に。

事務局長：報告は従前どおり報告書を作って、配布するというのはそのままでもいいか。

(「はい」との声あり)

只野委員：町民の時に何回か出たことがあるが、報告の方は本当にいない。皆、本当に聞いていない。すごく長く時間かけて説明するけれども、ほとんど聞いていないし、特に御影なんて喋りたい人がいっぱいいて、とにかく喋る方に時間がかかって、2時間で、9時で終わりという感じ。報告の方は端折ってでも短くしてもらってというのが町民の時の思いである。

事務局長：今までのパターンだと、報告に対する質疑というのもあったが。

委員長：その次の意見交換の中で、それに対する質疑も含めてできるようなテーマであればいいのかなと思う。

事務局長：資料は作るけれども、報告する形についてはご覧ください程度でいいのかなと思う。

委員長：意見交換の方に時間を多く割くという方向で進めていくということによろしいか。

（「はい」との声あり）

委員長：あと、その内容については、グループディスカッションのような形でやるか、どういう形にするかということ、あとはそれぞれテーマを何にするかということ、次回開催日までに、事務局の方からメールを送ってもらって、書き込んで返してもらおうということにしたい。

事務局長：グループディスカッションは答えを出すというところもあるが、ワールドカフェはあくまでも、テーマに沿って皆が言いたいこと言い合って、そこで結論を出す必要はなく、意見を吸収して後々に活かしてもらえればというところが、グループディスカッションとワールドカフェの違いかなと思う。

委員長：1回目の報告会から感じていたのは、議会として説明するのだから、個人の判断は置いて説明してくださいという中で、なんとなくすっきりしないものを抱えながら説明していたところがあると思う。そのところは、これからの報告会の中ではどういうふうにするのかというのは考えていかなければならないと思う。中身については次回までに皆さんから色々なものを出していただきたいと思う。今回は20日の本会議終了後に行いたいと思うがよろしいか。

（「はい」との声あり）

（2）議会モニター会議の開催時期等について

委員長：次に議会モニター会議の開催時期についてであるが、令和5年度の議会モニター会議開催、前回は新しいメンバーが決まったので1回とりあえずやったらどうかということ、何もないのであればいいのではないかと両方の意見があったけれども、これはどのようにしたらよいか。

深沼委員：前回は話が出たと思うが、今回初めての任期ということもあるし、同じ人もいるけれども、そうじゃない人もいますので、顔合わせが6月の定例会について、何かもし意見とかあれば出してもらおうとかでいいのではないかと。

只野委員：今ので概ねいいのと、あと、それ以外議会について、好きな意見を言ってもらっていいのではないかと考えている。

委員長：モニター会議については、新しい方もいらっしゃるのと、とりあえず1回、顔合わせの会議を持つということにする。

深沼委員：広報紙にある程度間に合わせた方がいいのかなと、誰が議会モニターになりましたという形で、7月にやれば間に合うのかなと思って。

(3) その他

委員長：7月にやって、集合写真撮って8月の広報に載せる。7月13日の19時からとした。次に、その他何かあれば。

川上委員：議会活性化に向けた議論を進めていかないとならないと思う。前回の経過の中では、特別委員会を設置してやったということであるが、当時の最終報告の中の申し合わせで、次にもしやるのであれば、議運の方で取り扱って欲しいと言う申し合わせで終わったみたいである。そういう部分で、審議の体制については議運で進めていくという形で進めた方がいいのかなということと、検討事項であるが、1番として議員定数、2番として議員報酬、3番として模擬議会、団体との懇談会、4番目として議会サポーター・モニター制度、5番目としてIT化の推進、6番目として女性議員拡大に向けた様々な条件整備、その他として一般質問と答弁書の在り方と、議員研修の今後の在り方、常任委員会が果たして今の形でいいのかどうかも含めたことが、おおまかな議題になるのかなと、これは前回の経過の中から今後に向けた必要性のあるところを抜き出してみた。調査方法としては、まず、前回報告書の調査事項の精査と、今後の先進自治体の調査の実施、全員協議会の報告をしながら議論を進めていくということで、中間報告そして最終報告とする。スケジュールに関しては、それぞれの項目では、最低5回くらいは審議を行っていかなければならないのかなというところでは、概ね30回以上、全35回前後の審議回数をみていかなければならない。途中で中間報告を挟んで、それぞれの常任委員会、または全員協議会の中で協議を行うと、最終報告については3年間かけて令和8年9月までに最終報告を作っていく。これは、条例化がどうしても必要な内容になってくると、12月では間に合わないの、条例化が必要な場合には令和8年12月議会で議決を図ると、概ねこのような方向性を持って議論していくのがいいのかなということで私の方から提案をさせていただいた。これについては皆さん見ていただいて次回にまた何かあれば出していただいて、具体的にスケジュールを組んで、進めていかなければならないのかなと思っている。

委員長：清水町も今まで何回か議会改革をやってきた中で、良かった点と、当時はいいと思ったけれども今となってみればというのがもしあるのであれば、そこも検証しながら次にいくというのも必要かなと思っている。

川上委員：そういう部分では前回の報告書の調査事項の精査も必要かなと思う。

委員長：今日は、これはこういうものが出されたということで、次回にはまたそれぞれの方からあると思うけれども、これから何回かやっていくので、皆さんの考えを出していただきたいと思う。その他になれば、これで議会運営委員会を終了する。

【閉会 15:56】